

第120回: 康師傅が怒ってゐる

「坂の上の雲」に登場する好漢で、後に旅順港沖で戦死する廣瀬武夫がロシア公使館付武官だったころのこと。彼が上官の八代六郎(後に大將・海軍大臣)とサンクト・ペテルブルグの路上を歩いていると、突然八代中佐が「萬里長城不禦胡(=萬里の長城胡を禦がず)」と吟じ、これを30歩の間に17文字にせよと彼に求めた。曹丕と曹植の七步詩を気取ったのだろう。ただし、一介の武弁に向かって七步以内で詩を作れというのは可哀想だと思い、30歩に譲歩した点が後に俠將と呼ばれた八代らしいところだ。ところが広瀬は、即座に「盗人をわが子と知らで垣つくり」と川柳で応じ、二人は多いに意気投合したという。

4月24日の読売新聞「重慶事件、序列9位周氏を調査…薄氏に機密漏えいか」という記事を読み、ふとこのエピソードを思い出した。巴蜀の地に端を発し、いつの間にか天安門事件に匹敵する政治醜聞に発展した「薄熙来事件」が中南海の奥の院に飛び火したようだ。読売新聞は複数の党関係者の証言として、党内序列第9位で政治局常務委員の周永康が薄熙来との私的関係で党紀違反を犯した疑いが浮上したため、党中央規律検査委員会の調査を受けていると報じている。この報道の真否は不詳だが、中国政治ニュースで練達の筆が冴えわたっている読売新聞の記事だけに精度は高いだろう。こんな極秘情報が拾えるほど、最近「党関係者」の口が軽くなっているともいえるのだが。

いまチャイナウォッチャーの興味の対象は、政治局を解任された薄熙来から、彼の盟友の周永康に移りつつあり、周が一連の事件のどの部分(不法捜査、殺人、汚職、情報漏洩、盗聴 etc)に関与したかで議論が沸騰している。薄熙来事件がこれから何らかの形で周永康に波及するのは間違いないだろうが、彼は党の頂点に立つ常務委員である。この地位はアンタッチャブルな存在とされ、法律に書いてあるわけではないが、ここまで上り詰めると司直の手は及ばないと誰もが漠然と思ってきたのである。その周永康に対して、胡錦濤・温家宝が弾劾という前代未聞の拳に出るか、軽い譴責処分で済ませるか、それとも沈黙を条件に静かに引退してもらうか、はたまた無罪で済むか、議論がこの辺に絞られているのである。

むかし江沢民の威光を笠に着て中央政府の経済政策に逆らった陳良宇(政治局委員、上海市党書記)が胡錦濤の逆鱗に触れ、06年9月に身柄を拘束されたとき注目を集めたのは、彼とズブズブの関係にあった黄菊常務委員と、その上に君臨する江沢民へ事件が波及するか否かであった。結論からいえば、陳良宇は自ら全ての罪をかぶって服役(18年)することになり、限りなくクロに近かった黄菊には司直の手は及ばず、彼は9カ月後に臍臓がんで亡くなり、無事同志として追悼されることに成功した。

中国当局は薄熙来事件のウワサや誹謗中傷を有害なプロパガンダと捉え、その削除に躍起となっている。もし国内のミニブログやツイッターに、薄熙来や周永康という固有名詞が登場すれば、直ちに消されてしまう。だから中国のネチズンたちは薄熙来を「不厚」、周永康は名前の「康」に因み「康師傅(カンシーフ)」と名付け、符牒や暗号を駆使して情報交換している。世界最大のカップめん製造会社の「康師傅控股有限公司=Tingyi (Cayman Islands) Holding Corp」には何の咎もなく、誠に気の毒だが「康師傅もそろそろ年貢の納め時

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

だろう」等と云うシュールな会話が飛び交っているのである。

情報によると、政治局常務委員会で薄熙来の逮捕を討議したとき、これに真っ先に反対したのが周永康であったという。それに江沢民派の賈慶林と李長春が続き、これで反対は三票。胡錦濤と呉邦国が態度を保留するなか、温家宝と李克強、賀国強が賛成し、結果キャスティングボードを握ることになった習近平が賛成票を投じたため勝敗が決したという。もし習近平が薄熙来逮捕に反対しても、胡錦濤は強引に呉邦国を引きずり込んで賛成に回るトリックを使い、何れにしても薄熙来の逮捕に変わりはなかつただろう。しかし、あのとき習近平が逮捕に反対すれば、秋の党大会で彼の戴冠は実現しただろうか。いかにも中国人が好みそうなウワサだが事実のようだ。習近平は土壇場で賢明な選択をして紫微垣に一步近づいた。

嘆かわしいのは康師傅もとい周永康である。彼は党政法委員会書記、即ち公安・司法・諜報の総責任者である。序列は常務委員末席だがその権限は大きい。薄熙来は周永康に接近して政法委員会書記の継承を狙っていた。周永康が賀国強率いる党中央規律検査委員会の調査を受けているというのは未確認情報に過ぎない。逆に人民日報が4月24日に転載した周永康講話(3月26日)は、彼の降伏宣言であり、これで彼は安全圏に滑り込んだともいわれている。その真否はともかくこんな噂が広まること自体が遺憾の極みである。周永康の最近の言動で少し気になるのが、彼は決まり文句の「胡錦濤同志を総書記とする党中央」という個所から時々「胡錦濤」を外すのである。故意かどうか不詳だが、部下の王樂泉があとで、「胡錦濤」を加えて言い直したこともある。因みに「周講話」が注目されたのは、短いスピーチのなかで何と「胡錦濤」が4回も連呼されたからである。いずれにしても政法委に対し規律検査委が調査を始めるような異常事態は避けたいものだ。廣瀬中佐の川柳ではないが、遠山の金さんが大目付の取り調べを受けてどうする。これまで党中央はこんな事件は恥ずかしくて外に出せないのが極力隠してきた。しかしうわべを糊塗するような弥縫策を繰り返すだけでは、いつまで経っても中国の政治改革は進まない。

中国はどこに向かうのか。政治の安定を維持するために専制を継続するのか、それとも痛みを伴う政治改革と経済改革のなかで矛盾の解決を図るのか。体制を安定させるためには、時に人権を制限し、違法な取り調べも許されるといった開発独裁システムが通用する時代はとつくに過ぎた。薄熙来が関与した英国人殺人事件は、権力のチェック機能を欠いた一党独裁システムの残酷さを満天下に晒すこととなった。いま中国共産党が問われているのは、その腐敗体質ではなく、党の正当性そのものなのである。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成24年4月25日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%(税込み)(約定代金が260,869円以下の場合、3,150円(税込み))の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大0.8400%(税込み)の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%(税込み)の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%(税込み)(約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円(税込み))の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。